

広島市立大学 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」 事業実績総括表

区分	事業	事業の概要	実績				
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1 地域志向型の教育カリキュラムの整備・推進	①「地域貢献特定プログラム」の実施	COC+による教育カリキュラム改革の中心として、地域志向科目群による新たなプログラムにより地域人材の育成を目指す。 (COC+大学)	新規科目 9 科目の決定 (COC+教育プログラム専門委員会) 地域貢献特定プログラム(科目数: 14 科目)を盛り込んだ H28 年度教育課程表作成 新規科目担当教員の採用を決定	地域貢献特定プログラムの全学共通系 5 科目を開講 科目数: 5 科目 履修者数: 延べ 723 名 (H28 年度入学生) 専門教育科目 9 科目の追加を決定(プログラムの全科目数: 23 科目となる)	地域貢献特定プログラムの全学共通系科目 1 科目と「地域課題演習」、専門教育科目 11 科目を開講 科目数: 17 科目 履修者数: 延べ 1167 名 (H28・29 年度入学生) 「地域課題演習」 履修者数: 60 名 演習地域: 6 地域	地域貢献特定プログラムの専門教育科目 2 科目と「専門演習 I II」「地域実践演習」を開講 科目数: 23 科目 履修者数: 延べ 1376 名 (H28・29・30 年度入学生) 「地域課題演習」 履修者数: 54 名 演習地域: 7 地域 「地域実践演習」 履修者数: 38 名 演習数: 6 テーマ	地域をテーマとした卒業論文・研究・制作の実施 科目数: 23 科目 履修者数: 延べ 1251 名 (H28・29・30・R1 年度入学生) 「地域課題演習」 履修者数: 54 名 演習地域: 6 地域 「地域実践演習」 履修者数: 11 名 演習数: 4 テーマ 広島地域リーダーの認定
	②COC+単位互換の実施	COC+参加各校の地域志向科目を相互に提供し、新たな単位互換制度を設ける。 (COC+大学と参加校)	—	実施方法の検討 (協働協議会・教育プログラム開発委員会) 1 月「COC+事業参加大学間の単位互換に関する協定」締結	科目提供校: 6 大学 科目数: 17 科目	科目提供校: 7 大学 科目数: 18 科目	科目提供校: 6 大学 科目数: 22 科目
	③寄付講座の開講	事業協働機関を中心とした地域企業等からの寄付講座を開講し産学連携や学生の地域志向に資する。 (COC+大学と参加校)	COC+大学 0 講座 【目標 1 講座】 全体 8 講座【目標 13 講座】	COC+大学 0 講座 【目標 1 講座】 マツダ(株)との協議 全体 15 講座【目標 13 講座】	COC+大学 1 講座 【目標 2 講座】 全体 20 講座【目標 17 講座】	COC+大学 1 講座 【目標 2 講座】 全体 22 講座【目標 17 講座】	COC+大学 1 講座 【目標 3 講座】 全体 未集計【目標 21 講座】
	④全学 COC+研修会の開催	FD・SD 研修として実施し、事業推進や地域教育への理解を深める。 (COC+大学)	3 月「広島大学生物生産学部 の COC 事業について」 参加者数: 68 名	10 月「広島広域都市圏構想について」 参加者数: 98 名 3 月「広島修道大学の地域志向教育プログラムについて」 参加者数: 79 名 (動画を学内 Web 配信)	11 月「地域課題演習・初年度の報告」 参加者数: 65 名 3 月「広島経済大学の興動館教育プログラムについて」 参加者数: 30 名	12 月「高知県立大学の地域社会志向教育について」 参加者数: 37 名 3 月「地域貢献特定プログラムの成果と課題」 参加者数: 58 名	1 月「横浜国立大学の COC 事業の成果と地域貢献・人材開発」 参加者数: 74 名 3 月「COC+事業の報告と終了後の継続に向けて」
2 観光関連データベースの構築・活用	①データベースの構築	事業協働地域の観光に関するさまざまなデータを収集し、教育研究活動や参加機関にも利用可能なデータベースを構築する。 (COC+大学と協働機関)	WG 技術メンバーによる仕様策定・決定 業者へシステム構築依頼・構築 サンプルデータを 6000 件程度登録	観光 DB トライアル運用の開始(課題抽出) 未提供機能の追加構築(他システム連携 API) 追加機能の検討と仕様出し	DB システム運用開始と機能拡張の実施 自治体・企業等からの観光関連データの調査・収集	観光関連データ約 60 万件登録 DB 利用マニュアル作成自治体・企業等からの観光関連データの調査・収集継続	COC+事業完了に向けクラウド運用からの移行検討 学内専用システムへの移行の実施
	②データベースの活用	収集・登録したデータを大学における教育研究や協働機関との調査研究に活用する。 (COC+大学と協働機関)	観光関連データベース WG の設置 事業協働機関への周知と情報提供依頼	観光 DBWG 開催各学部専門教員との必要データ検討 機関への訪問説明と情報提供依頼	DB を活用した試験的研究・事業・プロジェクトの検討・実施準備 地域課題演習・観光情報学にてトライアル運用	DB 本番公開の開始 事業協働機関への公開	R 元年 12 月より学内運用に切り替え

区分	事業	事業の概要	実績				
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
3 アートプロジェクト等の教育研究事業の実施	①アートプロジェクトの実施	事業協働地域の資源や観光のポテンシャルをアート表現によって活性化させるため、芸術教育の一環として、地域展開型のアートプロジェクト（制作・展示）を実施する。 （COC+大学と参加校、自治体）	実施方法の検討、候補地域の選定 （アートプロジェクトワーキンググループ） 1 地域（広島市基町）1 プロジェクトを実施 参加者数：800 人 【目標 500 人】	全体のコンセプトを「広島ニユートラベル」と設定 2 地域（廿日市市、広島市）7 プロジェクトを実施 参加者数：2768 人 【目標 2000 人】	6 地域（廿日市市、広島市、尾道市、北広島町、安芸太田町）10 プロジェクトを実施 参加者数：3258 人 【目標 3000 人】	7 地域（廿日市市、広島市、尾道市、柳井市、北広島町、安芸太田町）10 プロジェクトを実施 参加者数：4463 人 【目標 2000 人】	6 地域（廿日市市、広島市、尾道市、呉市、東広島市、柳井市）7 プロジェクトを実施 参加者数：未集計 【目標 2500 人】
	②活動拠点の整備・活用	地域での教育研究活動を進めるためのサテライト拠点を2か所設け運営する。 （COC+大学と参加校）	基町プロジェクト M98 （H26 年度に交流スペース開設） サテライトハウス宮島 （候補物件調査）	基町プロジェクト M98 ・学生による空き店舗のリノベーション M98make（工房） M98eat（キッチン） サテライトハウス宮島 ・古民家の賃貸借契約と一部改修工事	基町プロジェクト M98 ・学生による空き店舗のリノベーション M98join（展示交流スペース） サテライトハウス宮島 ・開設記念展 6 月 ・本格的な活用開始	基町プロジェクト M98 ・4 つのスペースを活用した事業展開、参加校協働事業 サテライトハウス宮島 ・アート P 作品制作、展示、現地学習、市民講座等に活用	基町プロジェクト M98 ・空き店舗のリノベーションにより新たに Unite（展示販売スペース）を整備 サテライトハウス宮島 ・作品制作、展示、現地学習、市民講座等に活用
	③参加校による協働研究事業の実施	参加校が地域での調査研究、講座、作品制作、地域支援などにより、学生の地域学習を、協働または単独で行う。 （参加校と自治体）	実施準備	調査研究（広島大学、広島経済大学）、講座（尾道市立大学、広島工業大学）、地域支援等（広島修道大学、安田女子大学、広島国際大学、広島商船高等専門学校）	調査研究（広島大学、広島経済大学）、講座（広島工業大学）、アートプロジェクト（尾道市立大学）、地域支援等（広島修道大学、安田女子大学、広島国際大学、広島商船高等専門学校）	調査研究（広島大学、広島経済大学）、講座（広島工業大学）、アートプロジェクト（尾道市立大学）、地域支援等（広島修道大学、安田女子大学、広島国際大学、広島商船高等専門学校）	調査研究（広島大学、広島経済大学）、講座（広島工業大学）、アートプロジェクト（尾道市立大学）、地域支援等（広島修道大学、安田女子大学、広島国際大学、広島商船高等専門学校）
	④大学連携による学生の観光研究・活動発表会	学生の地域観光に関する学習・研究意欲を高めるため、大学間交流として様々な分野の成果を持ち寄り発表する。 （COC+大学と参加校、協力校）	—	企画、実施準備	第 1 回開催 12 月 会場：広島経済大学宮島セミナーハウス 参加大学：7 大学 発表テーマ数：14 テーマ 参加者数：学生 65 名、教員 24 名	第 2 回開催 12 月 会場：広島経済大学宮島セミナーハウス 参加大学：7 大学 発表テーマ数：12 テーマ 参加者数：学生 64 名、教員 21 名	第 3 回開催 12 月 会場：広島市西区民文化センター 参加大学：6 大学 発表テーマ数：10 テーマ 参加者数：学生 55 名、教員・地域関係者 26 名
	⑤COC+特色研究等の実施	教員の学内の競争的研究資金としてCOC+特色研究、社会連携プロジェクト費を公募実施。 学生の社会貢献を支援する市大生チャレンジ事業を実施。 （COC+大学）	—	COC+特定研究 3 件 社会連携プロジェクト 5 件 市大生チャレンジ事業 4 件	COC+特定研究 2 件 社会連携プロジェクト 5 件 市大生チャレンジ事業 2 件	COC+特色研究（名称変更）2 件 社会連携プロジェクト 6 件 市大生チャレンジ事業 3 件	COC+特色研究 3 件 社会連携プロジェクト 6 件 市大生チャレンジ事業 5 件
	⑥サテライト講座の開催	高校生の地域内進学を促進するため、柳井広域圏（1市4町）の高校生や保護者等を対象に、公開講座を実施。 （COC+大学と自治体）	—	開催準備 （社会連携委員会）	講座開催 3 回 参加者数：32 名	講座開催 3 回 参加者数：53 名	講座開催 3 回 参加者数：44 名
4 インターンシップの強化	①インターンシップの実施	協働機関や地元企業の協力を得て、地域内企業・団体へのインターンシップを促進する。学生の地元企業理解の事業等を積極的に行う。 （COC+大学と参加校、協働機関）	事業協働機関へのインターンシップ数： COC+大学 44 名 【目標 62 名】 全体 1400 名【目標 1244 名】	COC+大学 50 名 【目標 64 名】 全体 1227 名【目標 1258 名】	COC+大学 58 名 【目標 66 名】 全体 1286 名【目標 1272 名】 新たな企業訪問事業（中経連と協働）83 名参加 地元企業経営者パネル討論会、73 名参加	COC+大学 59 名 【目標 68 名】 全体 1109 名【目標 1286 名】 企業訪問事業（中経連と協働）51 名参加 地元企業経営者パネル討論会、69 名参加	COC+大学 61 名 （12 月現在） 【目標 70 名】 全体 未集計【目標 1300 名】 企業訪問事業（中経連と協働）参加企業 12 社 地元企業経営者パネル討論会、83 名参加

区分	事業	事業の概要	実績				
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
4 インターンシップの強化	②キャリア教育の見直し	教育課程のキャリア形成支援科目の見直しを行い、インターンシップ、就職への実践的な指導を実施。 (COC+大学)	—	—	改善の必要性検討 (就職・インターンシップワーキンググループ)	全学共通系のキャリア形成支援科目の見直し作業 「キャリアデザイン I II」、 「キャリアサポートベーシック AB」を新設	新規科目「キャリアデザイン I II」の開講 履修者数：65 名
5 事業運営等	①事業協働協議会の運営	事業協働協議会、67 機関（大学 9 校、自治体 25 市町、企業団体 33 機関）への事業の進捗状況の報告と年度計画の協議等を行い、円滑に事業を推進する。 (COC+大学と協働機関)	事業協働協議会（66 機関）の設立会議の開催、12 月参加機関数：66	事業協働協議会の開催、1 月参加機関数：37	事業協働協議会（67 機関となる）の開催、1 月参加機関数：31 新規加入：しまなみジャパン 事業の一部を協力する大学：比治山大学	事業協働協議会の開催、1 月参加機関数：26	事業協働協議会の開催 1 月 31 日
	②学内推進組織の運営	学内の COC+実施特別委員会や運営部会、COC+教育プログラム実施専門委員会、分野別ワーキング会議により検討を行い、事業を推進する。社会連携センターに専任のスタッフ（特任教員）を置く。 (COC+大学)	学内推進組織の準備、委員会等設置 専任の特任教員 2 名雇用	運営部会 28 回 各委員会・ワーキング会議を適宜開催 専任の特任教員 4 名雇用（計 6 名）	運営部会 19 回 各委員会・ワーキング会議を適宜開催 専任の特任教員 6 名雇用	運営部会 11 回 各委員会・ワーキング会議を適宜開催 専任の特任教員 6 名雇用	運営部会 6 回 各委員会・ワーキング会議を適宜開催 専任の特任教員 6 名雇用
	③COC+フォーラムの開催	事業協働協議会の主催により、広く一般の参加を呼びかけ、COC+を契機とした観光や地域活性化等について、課題や知見を共有した。 (協働機関)	キックオフフォーラム 2016 「出でよ若者・愛でるは地元」 会場：ホテルグランピア広島 3 月、参加者数 220 人 【目標 200 人】	フォーラム 2017 「つながれば始まる」 会場：広島国際会議場 1 月、参加者数 174 人 【目標 100 人】	フォーラム 2018 「しなやかな地域づくり」 会場：広島市総合福祉センター 1 月、参加者数 90 人 【目標 100 人】	フォーラム 2019 「ICT による観光情報を活用した観光振興」 会場：広島市総合福祉センター 11 月、参加者数 67 人 【目標 100 人】	最終フォーラム 「COC+事業報告と広島広域都市圏の観光振興の展望」 会場：広島市総合福祉センター 1 月 31 日開催
	④広報活動	COC+ニュースレター「つながり通信」の発行、COC+ホームページの発信、事業紹介パンフレット等による広報を実施。 (COC+大学)	ニュースレター発行（3000 部）2 回 ホームページ「広島市立大学 COC+Area25」コンテンツ作成	ニュースレター発行（3000 部）3 回 ホームページの発信、6 月～アクセス数 14,635 件	ニュースレター発行（3000 部）3 回 ホームページの発信 アクセス数 17,609 件 事業活動紹介パンフレット「地域に目覚める」発行（5000 部）10 月	ニュースレター発行（3000 部）2 回 ホームページの発信 アクセス数 12,911 件	ニュースレター発行（3000 部）2 回の 合併号発行 ホームページの発信
	⑤事業報告書の作成	各年度の事業報告書を刊行し関係機関に配布。 (COC+大学)	—	COC+REPORT/2016 刊行、H29 年 5 月（500 部）	COC+REPORT/2017 刊行、H30 年 7 月（500 部）	COC+REPORT/2018 刊行、R 元年 7 月（400 部）	COC+REPORT/2019 刊行、R2 年度（400 部） <u>予定</u>
	⑥事業評価	COC+外部評価委員会（委員は教育、調査研究、観光、芸術の各分野の有識者 5 名）により評価を受ける。事業協働機関による事業への満足度の評価を受ける。 (COC+大学)	外部評価委員会の設置準備 事業満足度：未調査	外部評価委員会の設置及び H27 年度事業の評価「B:計画に沿った実績となっている」 7 月 事業満足度：97.9%【目標 100%】	外部評価委員会による H28 年度事業の評価「A:計画を上回った実績となっている」 7 月 事業満足度：100% 【目標 100%】	外部評価委員会による H29 年度事業の評価「A:計画を上回った実績となっている」 7 月 事業満足度：100% 【目標 100%】	外部評価委員会による H30 年度事業の評価「A:計画を上回った実績となっている」 7 月 R 元年度の外部評価は 3 月 30 日実施 事業満足度：R2 年度調査 <u>予定</u>